科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
220009	XYY1220009	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	共通	選択	１年
経営と組織	内田　亨			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	必修	１年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	必修	１年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	共通	必修	１年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	共通	必修	１年
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	共通	必修	１年

授業目的

本講義では、経営学全般や組織論についての基礎理論および現代企業の管理手法等を習得する。また、組織体（含非営利組織）は組織をどのようにマネジメントしているか、基本的なことを理解する。
こうしたことを学ぶことによって「健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決に当たることができる」人物像を目指す。

各回毎の授業内容

第１回
【授】イントロダクション（ガイダンス、経営学とは）
【前・後】当日配布資料の復習をする。予習復習に 4 時間

第２回
【授】企業・組織の仕組み
【前・後】事前配布資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に 4 時間

第３回
【授】経営理念、企業の社会的責任（ＣＳＲ）
【前・後】興味のある企業・組織の経営理念を検索しておく。予習復習に 4 時間

第４回
【授】人材（人材開発、人材戦略）とは
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例から授業で習った視点で見てみる。予習復習に 4 時間

第５回
【授】第 1 部　組織論の枠組み　Ⅰ　組織とは
【前・後】興味のある企業・組織の組織図を調べてみる。予習復習に 4 時間

第６回
【授】第 1 部　組織論の枠組み　Ⅰ　組織とは（つづき）
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例から組織図を作ってみる。予習復習に 4 時間

第７回
【授】第 1 部　組織論の枠組み　Ⅱ　組織のダイナミックス
【前・後】事前配布資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に 4 時間

第８回
【授】第 1 部　組織論の枠組み　Ⅱ　組織のダイナミックス　（つづき）
【前・後】事前配布資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に 4 時間

第９回
【授】第４部　組織レベル　Ⅰ　組織デザイン
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例から授業で習った視点で見てみる。予習復習に 4 時間

第１０回
【授】第４部　組織レベル　Ⅱ　組織文化
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例の組織文化とはいかなるものか考えてみる。予習復習に 4 時間

第１１回
【授】第４部　組織レベル　Ⅱ　組織文化（つづき）
【前・後】資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に 4 時間。

第１２回
【授】応用試験
【前・後】事前配布試験問題の答案を作成する。予習復習に 4 時間。

第１３回
【授】第５部　組織変革　Ⅰ　危機管理
【前・後】アルバイト先、公認団体、同好会等、身近な例のコンプライアンス違反をあげてみる。予習復習に 4 時間

第１４回
【授】第５部　組織変革　Ⅱ　人的資源管理
【前・後】事前配布資料に目を通す。当日配布資料の復習をする。予習復習に 4 時間

第１５回
【授】第５部　組織変革　Ⅲ　変革の理論と実際
【前・後】最近のダイバーシティマネジメントにはどんなものがあるか調べてみる。予習復習に 4 時間

第１６回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							5
授業態度・授業への参加							30
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							65

・ 応用試験（小論文　Ａ４両面１枚、全て持ち込み不可）：６５%、授業への参加：３０%、期末レポート：５%
第 14 回、第 15 回の授業中に応用試験の優秀答案や中庸答案の改善点等を説明する。

教科書参考書

参考書：田尾雅夫（2010）『よくわかる組織論　（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』ミネルヴァ書房。

受講に当たっての留意事項

・ 受講生の授業の理解度について、応用試験によって確認する。なお応用試験は、小論文形式のため、普段から文章を書けるようにしておくこと。
・授業中指名し、こたえられなければ授業への参加ポイントを付与されない。

学習到達目標

・ 組織論における基本的な知識（組織論の枠組み、組織レベル、組織変革など）を理解する（授業態度・授業への参加：３0%）。
・ 組織論の理論やキーワードを使って、組織体のマネジメントについて、課題抽出・分析・考察ができるようになる（応用試験：６５%、期末レポート５%）。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習